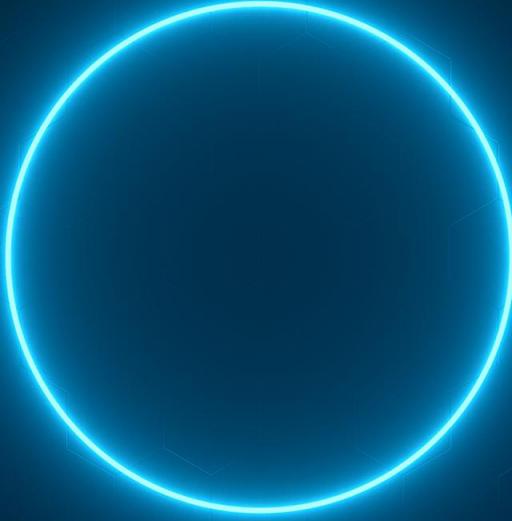




AI Factory as a Service

サービス紹介資料

合同会社デロイトトーマツ



AI Factory as a Service

Beyond Imagination, Accelerate a New Era.

想像を超えて 新時代を加速させよ

いま、世界では、AIの技術革新が加速的に進み、
AIがもたらす多くのブレイクスルーが、企業経営に大きなインパクトを与えています。
それは、ビジネスへのAIの適用が企業の競争力に影響する、時代の到来を意味します。

新たな時代を駆け抜けるのか、取り残されるのか。
誰もがイノベーターとなり、新たな未来を切り開くことができるのです。

デロイト トーマツのAI Factory as a Serviceは、
企業のAI導入を加速させ、想像を超えた変革へと導く、
AIのプロフェッショナルサービスです。

AI導入のプロセスすべてを可能にするAI・データ基盤と、コンサルティングサービスで
ブレイクスルーを実現し、企業経営へのインパクトを共に創出していきます。

私たちデロイト トーマツは、AIのエキスパートとして
企業がAIを活用し、成長と成功をできるよう全力で支援します。

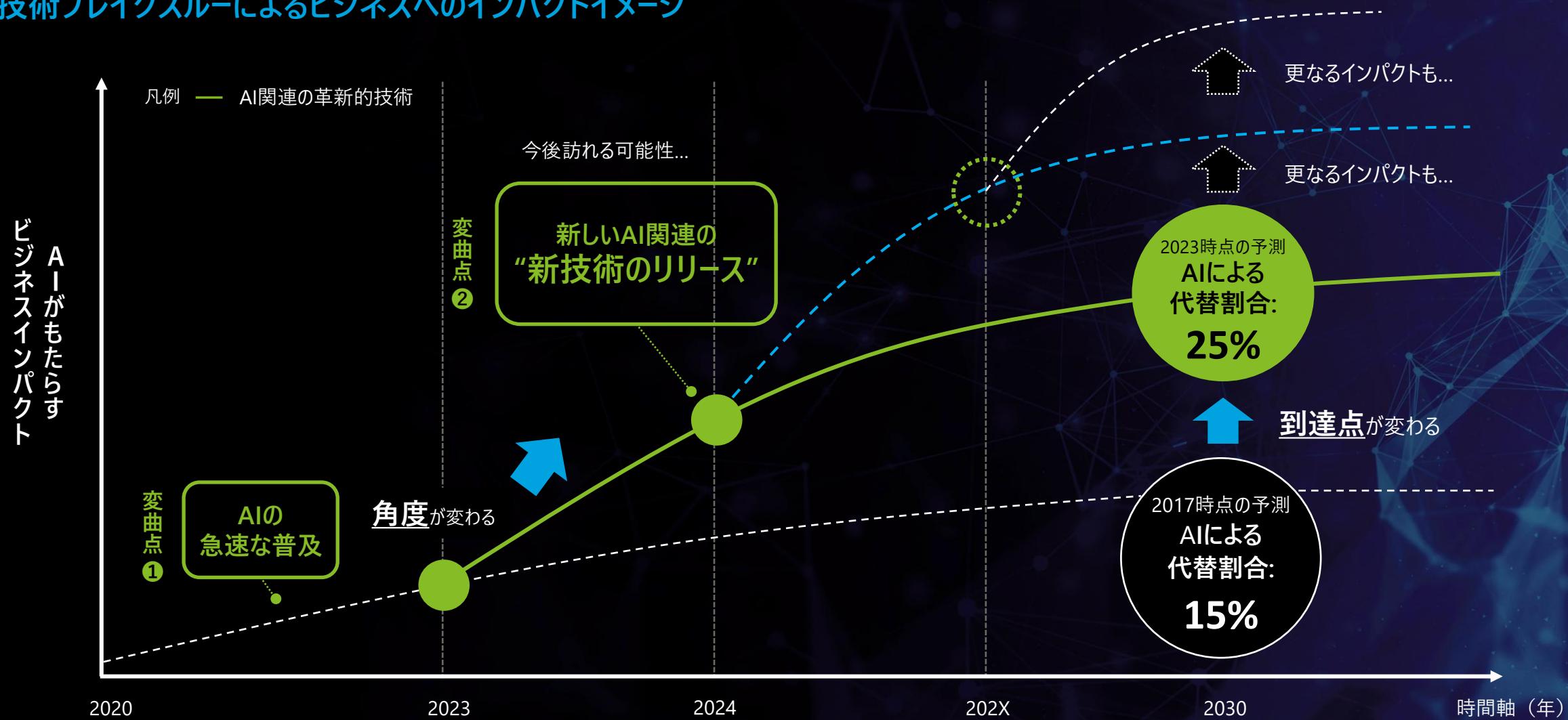
INDEX

1.AI技術の進展とビジネスへの影響	<u>04</u>
2.AI導入の課題とリスク	<u>08</u>
3.デロイトトーマツのAI導入支援ソリューション	<u>11</u>
4.デロイトトーマツにおけるAI活用実績	<u>20</u>

1. AI技術の進展とビジネスへの影響

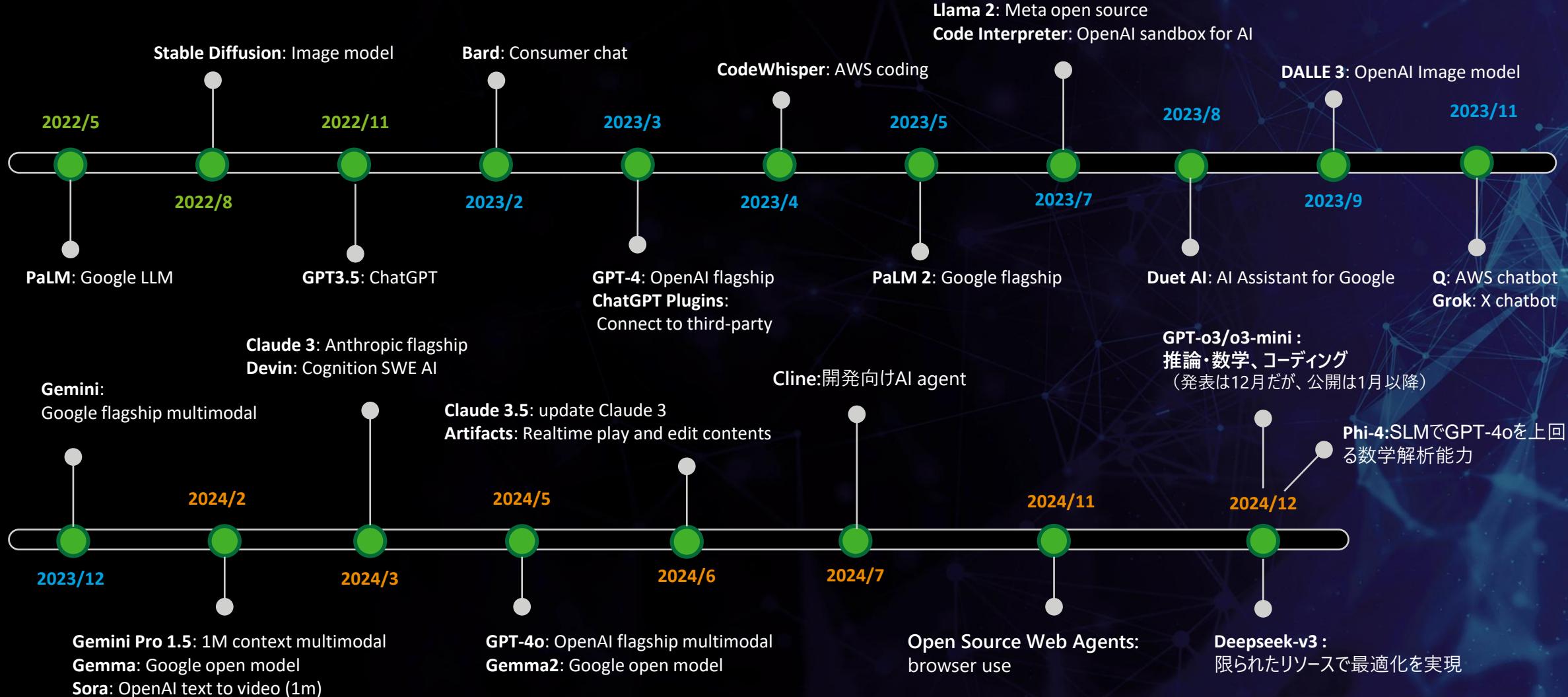
新技術のリリースは各業界の業務やビジネスモデルに大きなインパクトを与えることが期待され
ており、その影響度は急速に増加していくと予想されます

技術ブレイクスルーによるビジネスへのインパクトイメージ



生成AIの領域では、多様なプレーヤーによって汎用型や特化型、大小さまざまな規模のAIモデルが登場しており、非常に高頻度で新しい生成AI技術がリリースされています

生成AIの関連領域における主要技術リリース



AIは様々な業界での業務・課題へ貢献できる高い汎用性と有用性を有していることから、AIのビジネスへの適用が企業の競争力に直接影響することが考えられます

各業界における生成AIユースケースマップ

	エネルギー・資源・工業	金融サービス・保険	行政・公共サービス	テクノロジー・メディア・通信	ライフサイエンス・ヘルスケア	コンシューマー
音声	フィールドバーチャルアシスタント フィールドエージェントがハンズフリーなままで自然言語を使用して、ベストプラクティスや修理情報にアクセスできるように支援する	リテールバンキング業務支援 顧客の申し込み、質問、交渉などを含む複雑なリテール業務に人間同様の支援を提供する	行政・公共サービス支援 行政サービスや学生向け情報のオンデマンドアクセスの際に、自然言語で支援する	翻訳・字幕・説明文 音声を多言語に翻訳（例：字幕の生成など）し、ビジュアルメディアコンテンツに説明文を提供する	フォローアップの自動化 臨床メモを取り込み、フォローアップが必要な患者を特定し、フォローアップのスケジューリングや健康習慣を促すために送信可能な音声メッセージを作成する	会話型リテール 特定のブランドやカテゴリーに特化した小売店において、人間型チャットボットを使い、詳細な商品サポートやガイダンスを提供する
コード	ノーコードな物理学ベース環境 研究者が、天候、流体力学、環境の高度な計算ができる正確な物理学ベースモデルを作成することができる	データベース検索 SQLなどのデータベース言語の代わりに自然言語を使用して、特定の項目やインサイトを見つけるために大規模金融取引データベースを処理する	ナレッジ管理 公務員が、自然言語を介して画像・動画・テキストファイルから大容量非構造化データのクラスター分け、検索、絞り込みを行う	オリジナルゲームの制作 斬新なコンピューターゲームやビデオゲームの概念化やコーディングを行い、ゲームテストのプロセスを促進させる	臨床試験データの処理 研究者がデータをクリーンアップし、自然言語を使用して臨床試験や承認プロセスのためのグラフやインサイトを生成することができる	高速マーケティング マーケティング担当者が自然言語のスピードでウェブサイトや外部向け販促用品を作成し、新製品やサービスをより早く市場に投入できるよう支援する
画像	新製品開発 新製品開発と修理を支援するため、工業製品や部品の詳細な図解を作成する	不正検知 クレジットカード認証などの分野において社内不正モデルを強化するために顧客の署名を生成し、不正が発生しやすい箇所をとりまとめる	公共事業計画の改善 自然言語を使用して詳細な計画を作成し繰り返すことによって、公共事業の策定プロセスと計画自体を強化する	半導体チップの設計 性能パラメータに基づき設計を反復・強化し、開発ライフサイクルの期間を短縮する	医療用画像の改善 医療用合成画像を多数生成し、画像処理アルゴリズムを学習させることで、異常の特定や臨床医が問題を発見するためのトレーニングを行う	商品写真と詳細 新製品や既存製品の詳細や非常にリアルな写真を様々な環境で作成する
文章	技術文書の要約 詳細な文書から情報を抽出し、ファイルレポートを特定のフォーマットに合成する	カスタマーデューデリジェンス報告 KYCプロセスなど、新規顧客に関するレポートを作成し、顧客のオンボーディングに係るアクションや意思決定を従業員が行えるようにレポートのサマリーを作成する	ケースファイル管理 複雑な政府機関のケースファイルを解析し有用な詳細情報をを見つけ、迅速に理解できるように要約・レポートを作成を行う	サイバーセキュリティ脅威の検出 マルウェア、異常、潜在的な脅威について、リスクの高い領域をまとめ、脅威を検出し、エグゼクティブレポートを作成する	病歴概要の作成 電子健康記録（EHR）の臨床メモから、患者の人口統計、病歴、アレルギー、投薬、その他関連する詳細を要約し、病院での受け入れに役立てる	パーソナライズドスーパー・マーケット 購入者1人ひとりにあわせた食事のプランや買い物リストを、特定の店舗で入手可能な商品の範囲で作成する
動画 (初期段階)	イベントの特定 エンドツーエンドの生産ラインのライブ動画から情報を収集し、プロセスとイベントに関する特定の状況を検出する	保険金請求の根拠となる動画 保険金請求の根拠となる動画（例：自動車衝突事故）を精査し、事故に係る部分を抜き出した動画を新たに生成する	市民生活支援 人間ながらのパーソナルアシスタントを空港・車両管理局・国境警備局・出入国管理事務所などの場所に設置する	バーチャルキャスター 言語や国境を越えてサポートできる人数を十分に確保できないが需要の高いイベント（例：スポーツ生中継など）のため、バーチャルなオンラインキャスターを作成する	デジタルセラピー デジタルセラピーやバーチャル環境で必要とされるアセットのAR・VRコンテンツを生成する	CMプレーンストーミング テレビCMやオンラインCMなど、生成されたビデオやビデオストーリーボードを使ったプレーンストーミングを速やかに行うことができる
3Dモデル &データ	地質学的評価 石油探査や資源発見の可能性に関するリアルデータと合成データの両方を評価する	金融モデルの強化 金融モデルを改善・向上させるために合成データを生成し、金融機関の流動性とプロセスにストレステストを行う	災害復旧および計画策定支援 計画策定と準備の補助として合成データ（例：交通データ、人口データ、what-ifシナリオ分析）を使用し、都市計画者と災害復旧チームを支援する	通信ネットワークメンテナンス 合成データを使用してデジタルツインをトレーニングし、ネットワーク障害の特定と、現場の技術者の復旧作業を支援する	新薬の創薬 タンパク質や生体分子の構造と機能を生成し、新薬候補の創生を促進させる	素早い製品デザイン ユニークで忠実な製品モックアップの製作を通じて、製品プロトタイプのライフサイクルを早め、購買者の合成行動データを作成する

Source: Deloitte US, "The Generative AI Dossier: A collection of industry specific use cases based on deep industry expertise, research, and expert interviews"

2.AI導入の課題とリスク

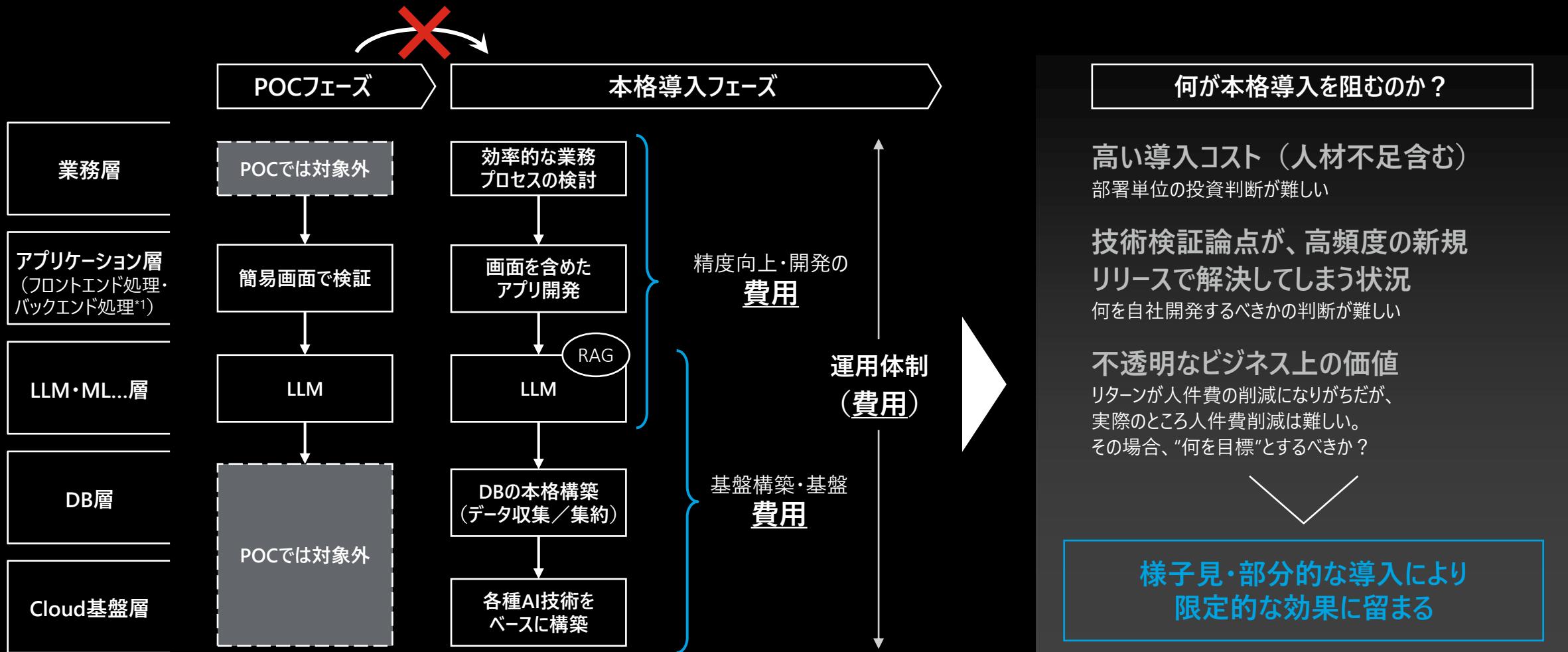
AI特有の高度な専門性や適切なROI設定、副次的に発生するリスクマネジメント・組織体制改変など、複雑に様々な課題が発生し、AIのビジネス実装が阻害されるケースが多々あります

AI導入における課題

分類	課題	詳細	AI導入を阻む課題・リスク
技術面	AI技術の不透明性	自社へ適合するAIソリューションやユースケースを選定することが困難なため、導入の意思決定ができない	● AI導入特有の高度な専門性
	ベンダーロックイン	特定のベンダーのソリューションに依存しきると、将来的な変更や拡張が難しくなるリスクが生じる	● 自社リソースとしての専門人材不足
	システム統合	AI・データ基盤と既存システムを統合するには、高度な専門性が求められる	● 最小限コストで最大限の成果を生むROI設計
コスト	データ整備	構造化/非構造化データ含め自社データに対する価値を見出し、AI効果を最大化するためのデータ整備が必要	● データ保護・整理など データマネジメントが必須
	ROI創出	AIをRPAなどのDXツールと同様に扱い、ROIの効果を求めるが、リターンである業務工数の削減とAI構築費用が釣り合わない	● AIドリブンな組織改編/文化醸成
セキュリティ	高額な導入費用	AI導入には外部ベンダー・人材及び構築費用が発生するため高額な初期コストが発生する	● AI使いこなし・活用浸透
	データ保護	AI学習に伴う機密データや個人情報の保護、データ漏洩やサイバー攻撃からの防御策を講じる必要がある	
組織/人材	法規制対応	業界における法規制や自社のセキュリティポリシーの対応が不可欠	
	組織改編	生成AI起用に伴い、営業やバックオフィスなどにおける最適な人材配置・組織改編の推進が必要	
	AI人材育成	AI利活用を促進する体制・仕組みづくりを自社にて知見・ノウハウを保持していないため自社リソースで対応できない	

特に多くのユーザー企業は、高額な導入コスト・困難なROI設計により、POCフェーズからAI本格導入フェーズへ移行できず、投資回収が達成できないケースが多く発生します

PoCから本格導入フェーズへの移行



*1 : UIなどのフロントエンド処理やビジネスロジックやモデルへの入出力コントロールなどのバックエンド処理

3. デロイト トーマツのAI導入支援ソリューション

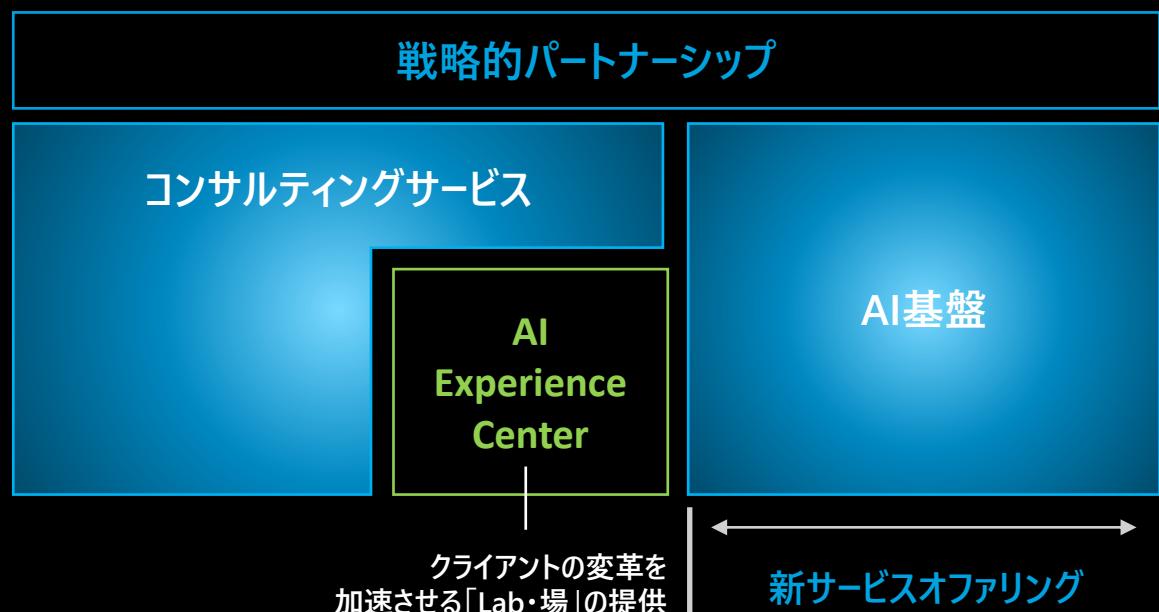
デロイト トーマツは、“AI環境の準備から運用”までの全てを可能とする「AI基盤」の提供と、AIのビジネス実装の効果を最大化する「AIコンサルティングサービス」を開始します

AI Factory as a Service

AI Factory as a Service

(以下AI FaaS)

デロイト トーマツがこれまで培ったAI技術・人材を基に立ち上げたAI基盤環境を顧客に提供し、効果刈り取りの実現に向けたAI導入の支援を加速



AI 基盤

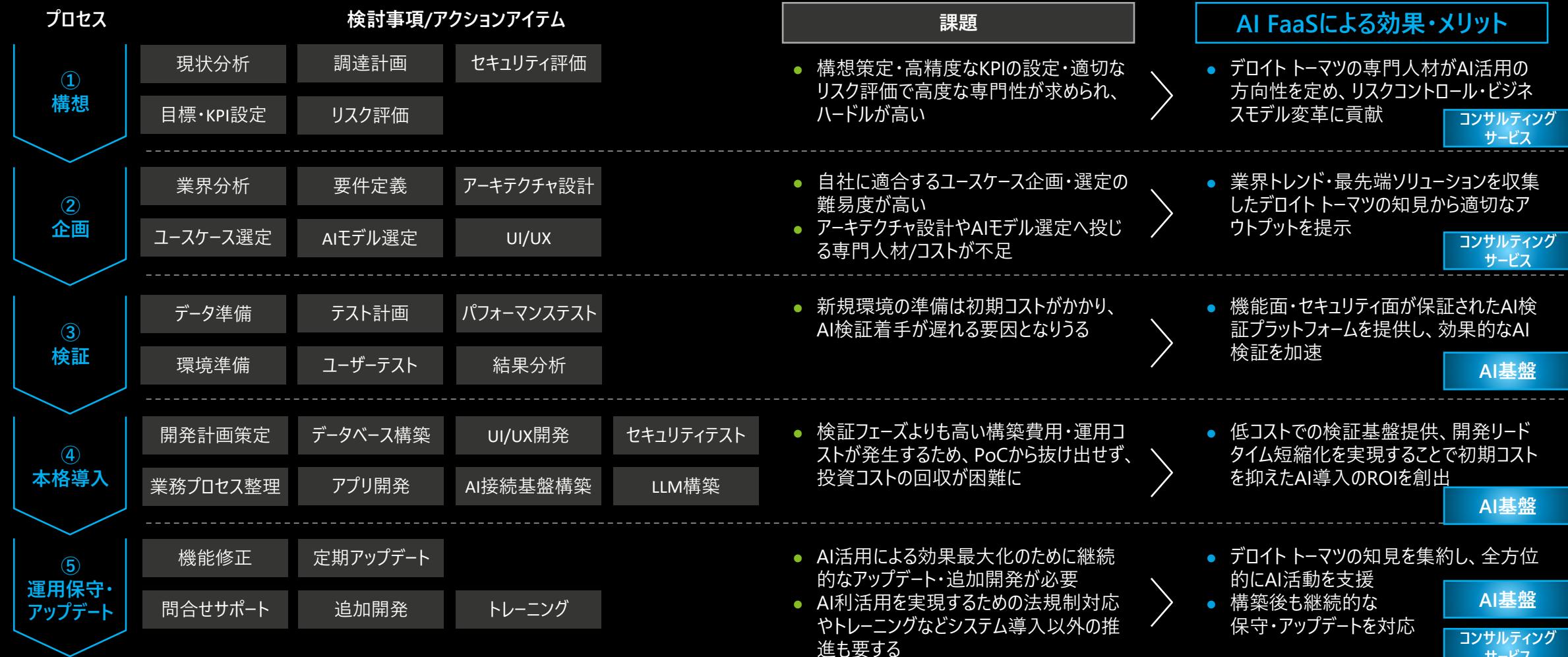
- ・デロイト トーマツで運用実績のあるAI基盤を活用
- ・大型の初期投資不要で自社でのAI活用を開始
- ・デロイト トーマツで活用している生成AIアプリ（PPT自動作成等）を提供
- ・ご希望に応じて個社対応のアプリ、LLM、データを追加可能
- ・自社ナレッジや業界データの登録、プライベートLLMによって業界や業務に特化したAIモデルが利用可能

コンサルティングサービス

- ・AI基盤導入を起点とし、業界特化のユースケース企画やプライベートLLM構築、トレーニング支援、組織改編など全方位的なAI活動を支援
- ・デロイト トーマツ及びアライアンス企業の技術力を活用し、クライアント別にカスタマイズされたサービス提供を実現

AI FaaSでは、AI基盤提供・AIコンサルティングサービスの提供により、AI投資活動における構想策定から企画・検証、AI開発まで一気通貫で支援し、迅速なAI導入を実現します

AI FaaS 支援スコープ



AI FaaSでは、PaaSやSaaSなどクライアントに最適なモデルにてAI基盤やAIアプリを提供しながら、AI導入効果を最大化する付加価値的なコンサルティングサービスを提供します

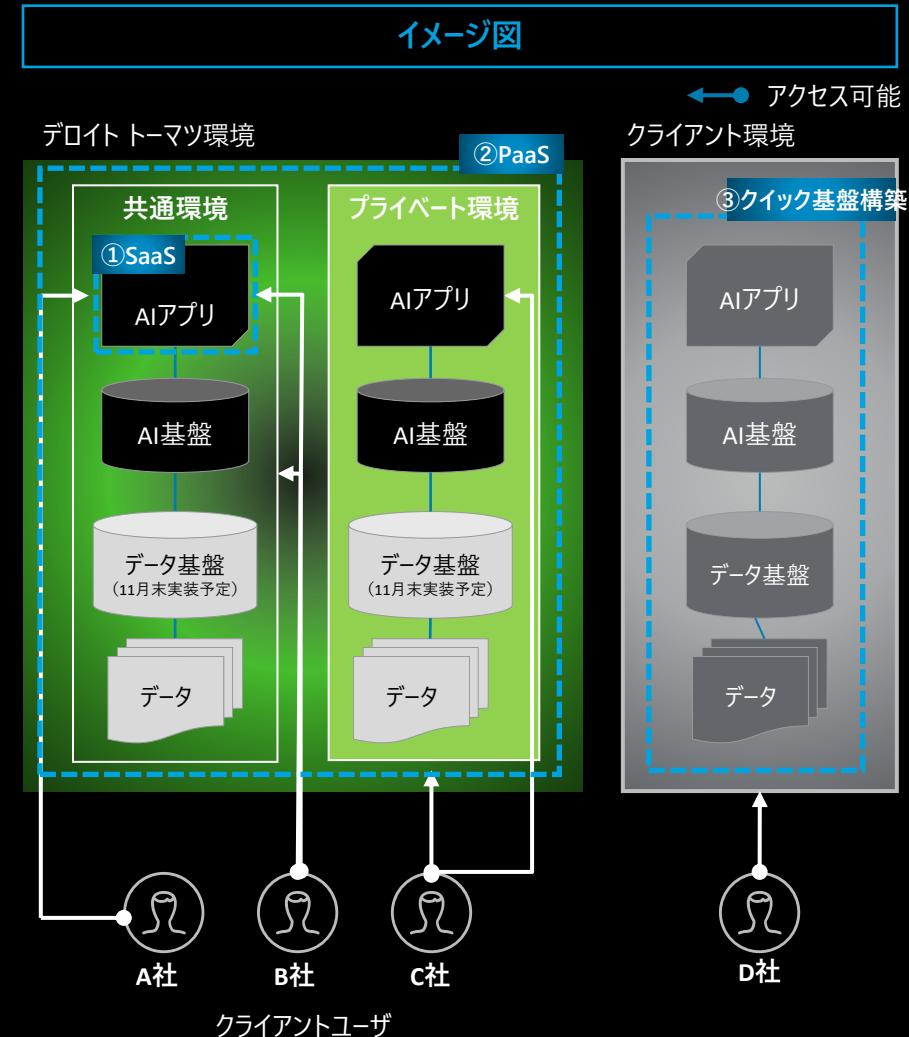
AI FaaSサービス詳細

提供モデル	提供内容	提供サービス例	提供サービス
AI基盤	SaaS <ul style="list-style-type: none">デロイトトーマツにて機能・安全性を検証済みのAIアプリを早期導入大型な初期投資不要で社内のAI活用を開始運用費のみでデロイトトーマツの知見が集約されたプラットフォームを利用可能	業務・業界特化ユースケースの企画・開発	<ul style="list-style-type: none">経理、人事、サプライチェーン、製造、医療、金融、公共など特化ユースケースの企画、開発を支援
	PaaS <ul style="list-style-type: none">PoC・AI検証を早期に実施できるAI基盤の提供生成AIアプリのデモ・PoC活動のスマートスタートを実現個社開発アプリのホスティング環境を提供	組織移行・人材移行支援（エンジマネジメント）	<ul style="list-style-type: none">AI活用後の組織の在り方、人材の在り方を定義し、移行計画の策定と推進を支援専用トレーニング：クライアントの従業員がAIを効率的に活用のためのe-Learningとワークショップを提供
	クイック基盤構築サービス（クライアント環境） <ul style="list-style-type: none">AI基盤テンプレートを用いて、クライアント独自にカスタマイズ可能な環境を実現クライアント毎にカスタマイズされた、AI基盤の活用方法を教育するワークショップ、ケーススタディ等の実施データ戦略の立案から、AI活用シナリオの具体化、浸透までを支援	コンサルティングサービス データ基盤構築 データオペレート	<ul style="list-style-type: none">連携データ基盤の構築と既存のクライアントシステムとのデータ連携構築を支援クライアントデータの分析・マネジメントによる資産利活用促進を目的としたデータOps機能を提供
		顧客向けプライベートLLM開発	<ul style="list-style-type: none">個人情報、クライアント内部の極秘情報を安全に取り扱うための個社向けLLMの開発・運用環境の提供とカスタムメイドLLMの開発を支援
		統合オペレートサービス（XOps）の提供	<ul style="list-style-type: none">アプリケーション、AI・ML、データの鮮度を保つための総合Operate（XOps）サービスを提供
		フリーミアムおよびマイクロサービス	<ul style="list-style-type: none">基本機能の無償提供（フリーミアムモデル）特定機能（文書要約、データ解析など）をAPIベースで提供利用可能な有償のAPIサービスの提案

導入コスト・開発リードタイム・自社の業務/機能要件・保有資産としての構築要否といった観点から、自社に最適なAIアプリ・検証基盤の提供モデルをご提案いたします

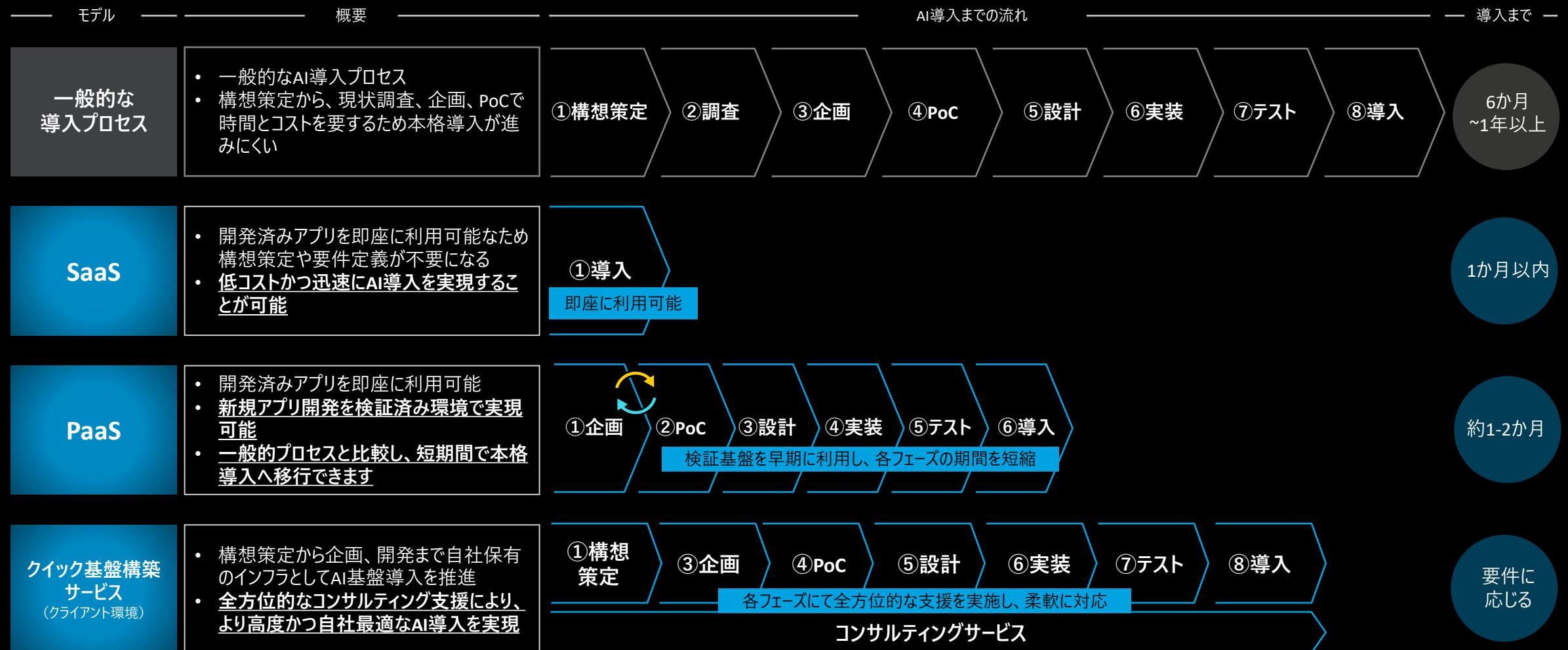
提供モデル比較

	①SaaS	②PaaS	③クリック基盤構築サービス (クライアント環境)
バリュー・ニーズ	開発不要でお手軽にAIアプリを導入	検証・データ投入を通して実践的なAIアプリを開発	フルカスタマイズで自社要件に合ったAIアプリ・基盤を構築
保有主体	デロイトトーマツ	デロイトトーマツ	自社 自社資産として基盤構築
リードタイム	◎ アカウント払い出しでAIアプリを利用可能	○ 環境設定のみでAIアプリ+検証基盤利用可能	△ AI基盤・データ基盤+AIアプリを構想段階から支援
カスタマイズ性	△ 既存アプリを使用可能	○ アプリ個別開発+基盤設定変更可能	◎ 可能な限り業務/システム要件に基づきアプリ・基盤開発可能
セキュリティ	○ デロイトトーマツ検証済のセキュアな環境を提供	○ データ保護も対応したセキュアな環境を提供	○ 自社基盤として完結した強固なセキュリティ環境を構築
コストモデル ※4月以降 順次正式決定	従量課金 利用ユーザ数・規模に応じて従量課金	月額費用+従量(+オプション) 月額金額と利用量に応じた金額+オプション機能・環境を選択可能	初期費用+コンサルフィー各社の要件に応じて変動
イメージ図	A社 共通環境にてAIアプリを利用可能	B社 共通環境にてアプリ・基盤を利用	D社 自社環境にてAI基盤・アプリを構築
		C社 共通環境に個社開発アプリを接続	



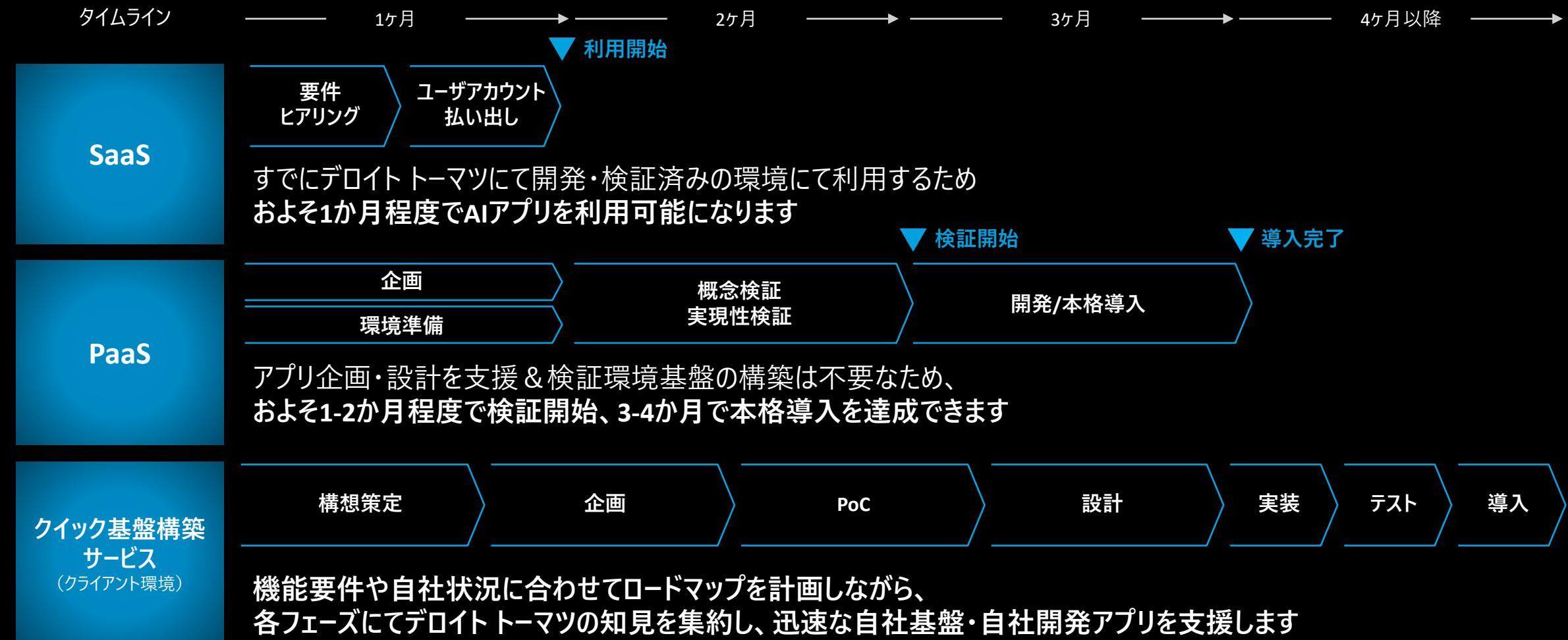
AI基盤の迅速な導入により、検証・本格導入フェーズにおける基盤構築の負担を軽減し、早いタイミングでユースケース検証や企画検討へ移行できます

AI FaaSによるAI導入プロセスの変化



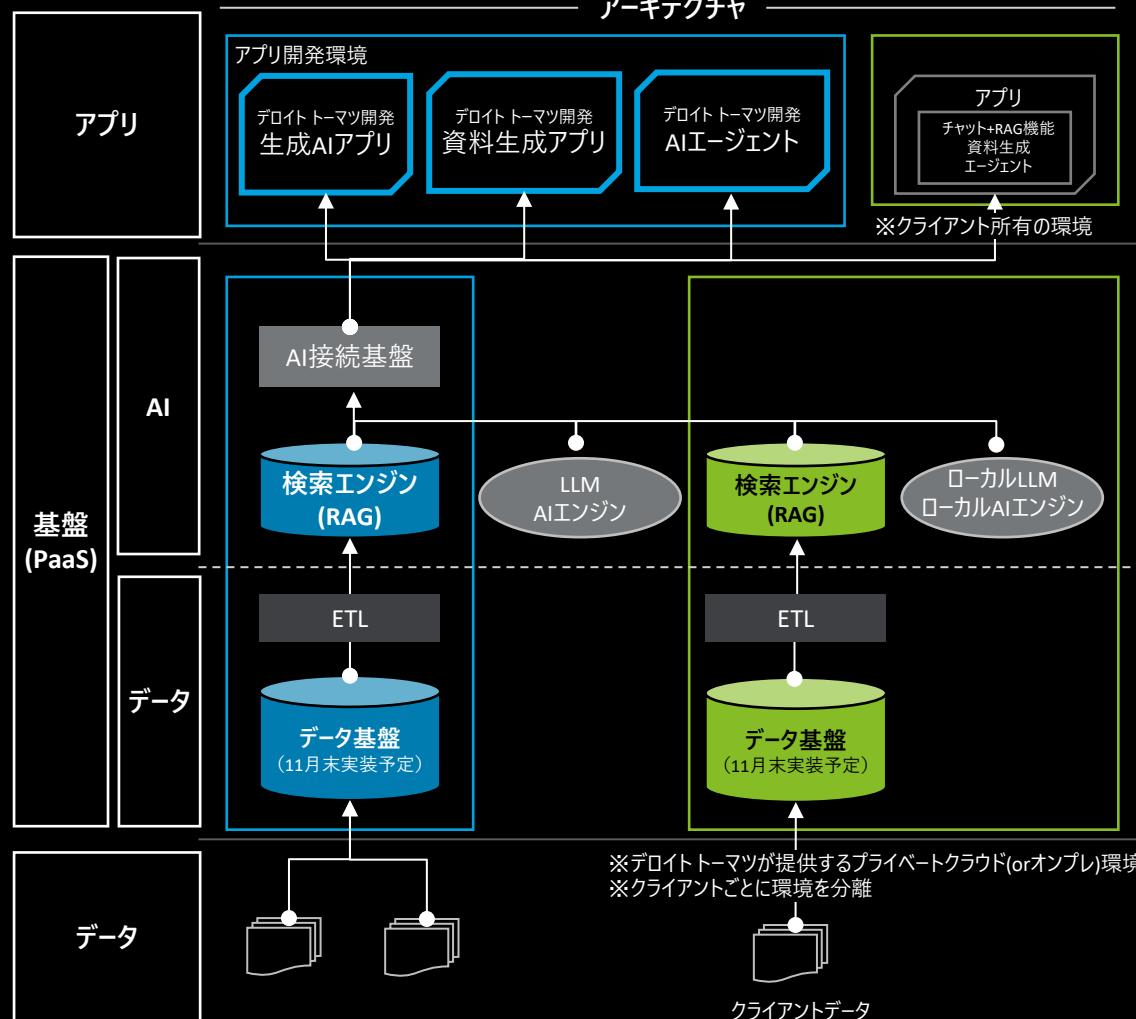
SaaSモデルではおよそ1か月程度でAIアプリ利用可能、PaaSモデルではおよそ 1-2か月程度で検証基盤が利用可能となり、迅速なAI開発・導入を実現します

サンプルスケジュール



参考

PaaSでの対象範囲



凡例

クライアント各社で共通の範囲(カスタマイズ不可)

クライアントごとのカスタマイズが可能な範囲

特徴

- デロイトトーマツが提供するアプリ開発環境とクライアント所有環境の双方から基盤への接続が可能。クライアントが自身でユースケース・アプリを検証できる環境を提供
- デロイトトーマツで実績がある生成AIアプリを利用し、AIの業務利用やクライアント企業内での啓蒙活動に活用可能

提供サービス

- アプリ開発環境
- 生成AIアプリトレーニング
- ユースケース企画

- デロイトトーマツ内で機能/セキュリティ検証された安全な環境を基盤として利用可能
- AIモデル・データベースの更新/管理がデロイトトーマツにて行われている為、クライアントは、常に最適化された基盤を利用可能
- 情報漏洩等のリスクを抑えたセキュアな環境でLLMを利用可能
- プロンプト/検索/データの統合管理サービスによる生成AIの回答精度の向上やハルシネーション対策を実現(LLM Ops, GenAI Ops)

- AIモデル更新・管理
- セキュリティ・ガバナンス管理(利用ログの保管、セキュリティフィルターの提供等)
- 生成AIの回答精度向上支援 (RAGチューニング含む)
- データ追加・資産利活用支援
- SLA・問い合わせサポートなど

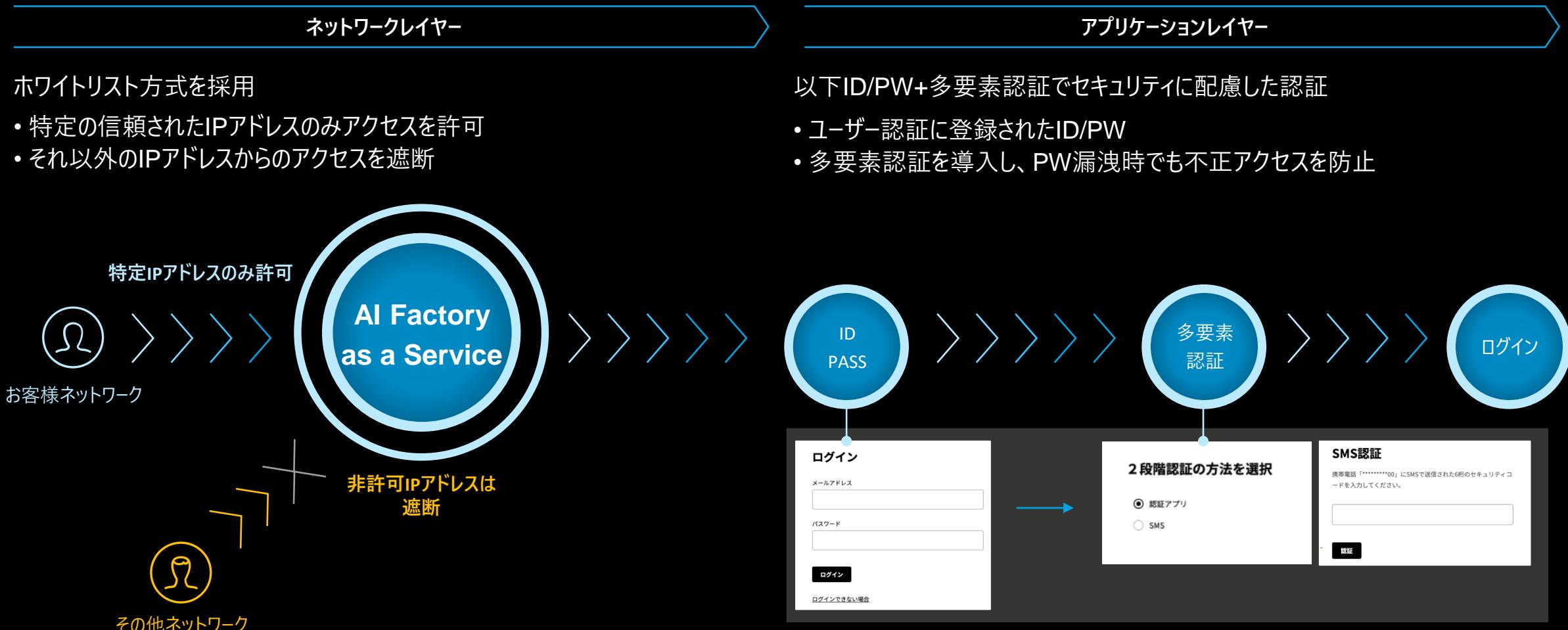
- PaaSの標準範囲(青色範囲)のETLでの設定変更でデータ追加が可能
- クライアントデータを個社ごとの環境に保管し、データ保護・セキュリティ対応を実現

- あらかじめ準備された各種データに加え、クライアント独自のデータ投入を行い、各種AIアプリでの活用が可能
- データのサニタイズ、加工などのデータ運用サービスが付随(DataOps)

- データクレンジング・データオペレート対応
- 外部データ連携 (既存データシステム、外部API)

IPアドレス制限とユーザー認証(ID/PW)+多要素認証の組み合わせによって、安全なアクセス環境を提供します

アクセス制御



4. デロイト トーマツにおけるAI活用実績

デロイトトーマツでは、早期に生成AI推進に必要な体制をCxO直下に構築し、推進や拡大に必要な施策・機能追加を行い、生成AIの成果の最大化を進めています

デロイトトーマツ 生成AI導入の歩み

デロイトトーマツでは、2023年からはCxO直下に特任チームを設立し、トップダウンでグループ横断でAI活用を推進。

2025年7月時点で、約12,500人が生成AIを活用し、グループ全体の稼働時間削減は約10万時間/月*に到達しました。

導入期

アクティブユーザー 1,000人～

- 初期立ち上げ
 - ・ 技術検証とユースケース検討
 - ・ アプリの早期リリース
- チェンジマネジメント
 - ・ 育成研修
 - ・ 社内メルマガ/ウェビナー

(2023年6月～)

準備期

- CxO配下に推進体制を構築
- 生成AI導入後のありたい姿を設定

立上期

アクティブユーザー 1,500人～

- 生成AIの活用領域を拡大
 - ・ データ利用ガイドライン改訂
 - ・ 生成AIデータ基盤導入(RAG)
 - ・ 機能/アプリの追加リリース
- 生成AI活用に関するKPIモニタリングを開始

(2023年9月～)

拡大期

アクティブユーザー 3,000人～

- 生成AIのプロフェッショナルワークへの適用・展開(使いこなし)
- 生成AI基盤の継続的成長と陳腐化を防ぐため運用チームの組成(Xops)

(2024年7～)

成果創出期

アクティブユーザー 10,000人～

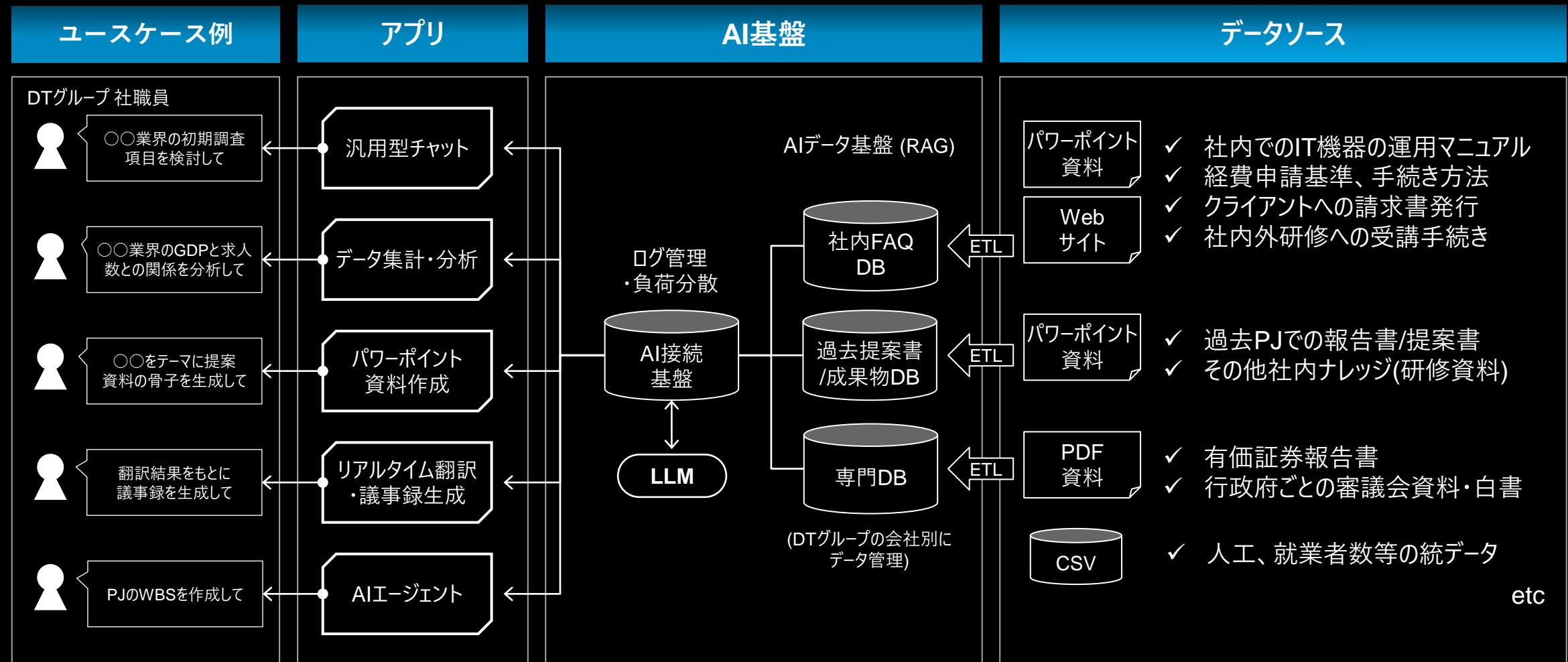
- 更なる成果創出を目的に、AIエージェントを提供開始
- 全ての組織にて、パイロットプロジェクトを選定し、タスクごとの生成AI活用効果を計測開始
- 生成AI活用効果を前提とした、プロジェクト内の人員体制を最適し、組織の売上、利益目標に反映

(2025年1月～)

*約12,500人の利用者に対して、利用者一人あたりの平均質問回数、プロンプト分析および実測から推計した平均稼働削減時間、更問を踏まえた正答率を掛け合わせて算出した推計値 (紹介ページ) <https://www2.deloitte.com/jp/ja/blog/ai-institute/2024/ai-utilization.html>

デロイトトーマツでAI利用に関する社内ユースケースを洗い出し、それらに必要なデータソースをAI基盤に投入し、必要となるアプリケーションを徐々に開発していく、ツールを発展させていきました

生成AIツールの発展



AI変革は、単発の導入ではなく、全体を見据えた継続的な進化です。デロイトトーマツは、自社の変革実績を基に、貴社の現状に合わせた最適なプロフェッショナルサービスをご提供します

AI変革フェーズごとの期待値、主な取り組み内容

		導入期 (AIの可能性を探索)	立上期 (RAGで自社データ活用)	拡大期 (AIエージェント×業務組込)	価値創出期 (自社システム化・ROI最大化)
クライアントの取組	対象とする業務レベル	・自己完結型業務	・共通型業務	・部門改善活動	・全社変革プロジェクト
	AI導入に対する期待値	・全社で安全に使える環境を整備 「使ってみる」文化を醸成	・社内データをAIで活かし 内製活用を広める	・業務プロセスにAIを組込み BPRや業務改善を推進	・AIを経営インフラ化し 価値創出を最大化する
	主な取り組み内容	・Copilot等の全社展開 ・利用ガイドライン整備 ・成功事例の共有	・RAG基盤の構築 ・文書・議事録・FAQを学習 ・ナレッジ検索精度向上	・AIエージェント導入による社内業務プロセスの自動化 ・プロセス標準化	・マルチエージェント運用による全社レベルでのROI最大化 ・新規事業創出
デロイトの提供価値	提案	提案	提案	提案	提案
	・全社的な生成AIツール展開プログラムの実行支援、AIガバナンス	・RAGによる社内情報資産の価値最大化支援	・AIエージェントによるBPR・業務改善とチェンマネ/組織再編支援	・AI経営変革に関する構想支援 ・AIOps最適化、実装支援	
	・ガイドライン ・プロンプト集	・育成に活用できる勉強会資料 ・eラーニング	・ロードマップ(200種)	・-	
	・SysOps	・DataOps, RAGOps	・AgentOps ・DevOps	・AgentOps ・DevOps ・AIOps	
アプリ・基盤	・チャットBot型アプリ ・資料作成	・RAG(データ基盤)	・Dify等のロードマップ ・アクセス権管理付きRAG	・クラウド環境でのAI基盤等の構築、保守運用、XOps	

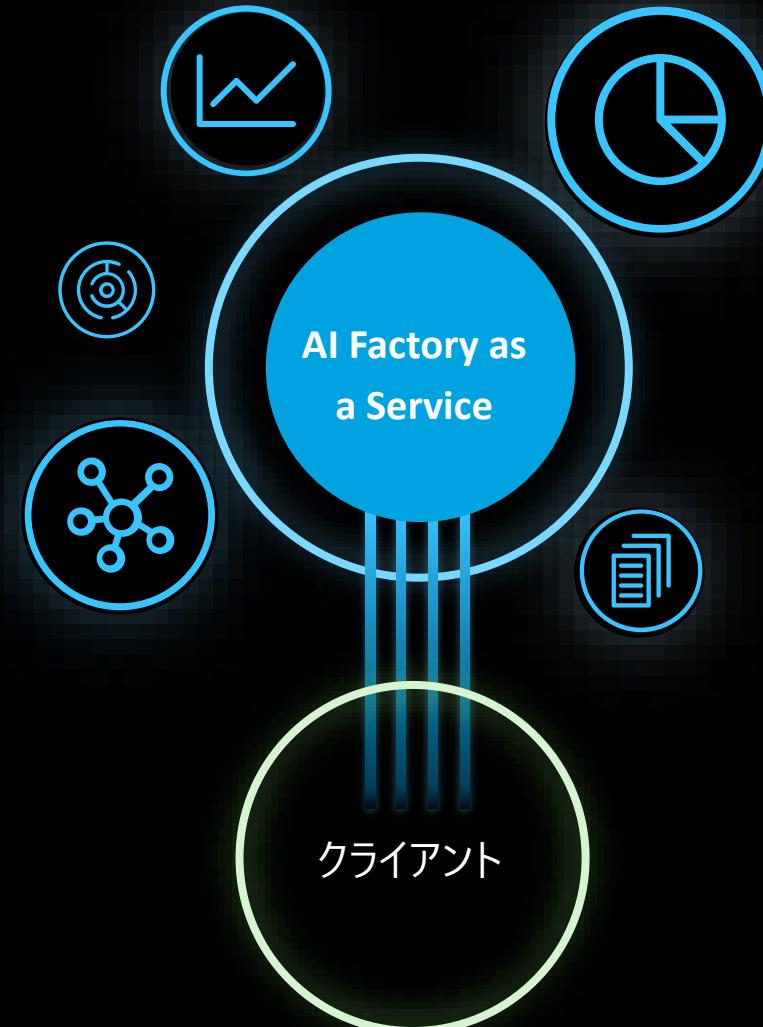
デロイトトーマツで培ったノウハウを、AI Factory as a Serviceへ展開・転用していく、
クライアントでの業務効率化、生産性向上、新たな価値創出をサポートしています

実績を活かしたクライアント向けAIサービスの展開

デロイトトーマツで培ったAIツールのノウハウや活用実績は、
順次「AI Factory as a Service (AI FaaS)」に反映されます。
AI FaaSでは、社内で実際に活用・発展させてきた
AIアプリや基盤、業務特化型AIエージェント、ノーコードツール等を
クライアント向けに展開します。
これにより、クライアント企業はデロイトトーマツの実績に基づく
最先端のAI活用環境を迅速かつ安全に導入でき、
業務効率化・生産性向上・新たな価値創出が可能です。
デロイトトーマツのAIノウハウが、AI FaaSを通じて
ビジネスの未来を切り拓きます。

AI FaaSとしてクライアントが得られる具体的なメリット

- ・ 業務効率化・生産性向上の実績
- ・ 具体的なAIツール・アプリの提供
- ・ AIエージェントの導入と業務特化型AIの今後の展開
- ・ 効果測定と改善サイクル
- ・ セキュリティ・権限制御





デロイトトーマツグループは、日本におけるデロイト・アシア・パシフィックリミテッドおよびデロイトネットワークのメンバーである合同会社デロイトトーマツグループならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、合同会社デロイトトーマツ、デロイトトーマツ税理士法人およびDT弁護士法人を含む）の総称です。デロイトトーマツグループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従いプロフェッショナルサービスを提供しています。また、国内30都市以上に2万人超の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイトトーマツグループWebサイト、www.deloitte.com/jpをご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、Deloitte Touche Tohmatsu Limited（“Deloitte Global”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイトネットワーク”）のひとつまたは複数を指します。Deloitte Globalならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しままたは拘束せることはございません。Deloitte Globalおよび各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作るおとび不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作るおとび不作為について責任を負うものではありません。Deloitte Globalはクライアントへのサービス提供を行いません。詳細はwww.deloitte.com/jp/aboutをご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドは保証有限責任会社であり、Deloitte Globalのメンバー フームです。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける100を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、最先端のプロフェッショナルサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促進することで、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来180年の歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーソナリティ（存在理由）として標榜するデロイトの約46万人の人材の活動の詳細については、www.deloitte.comをご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、Deloitte Touche Tohmatsu Limited（"Deloitte Global"）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーフームおよびそれらの関係法人（総称して"デロイトネットワーク"）が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。またDeloitte Global、そのメンバーフーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関係して直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対しても責任を負いません。Deloitte Globalならびに各メンバーフームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301

IS/BCMSそれぞれの認証範囲は
こちらをご覧ください

<https://www.bsigroup.com/clientDirectory>



Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited